

事業計画

(令和6年度)

1. 社会実装ビジネス推進協議会及びWGの設置

- 協議会の開催

2. 新生活空間創造プロジェクトの推進（実証フィールド* A・B）

- 社会実装モデル（移動サービス）の検討
 - ・当機構が所有する自動運転機能を搭載済みの超小型eモビリティを活用。
- 上記に関する実証実験環境整備、実証実験の実施に向けた検討
 - ・実証フィールドBの他、協議会メンバーの工場敷地内での実証実験を検討。
- 農食観光オープンイノベーションに向けた取り組み
 - ・女性企業家同士によるビジネス交流を通じた新たな連携可能性を検討。
- 社会実装モデルの検討（物流サービス）
 - ・米国スタートアップと連携し、実証フィールドA・Bにおいて地方都市の物流サービスに係る新たなシステムの設計・構築を検討。

3. マヒドン大学医療ロボティクスセンターとのビジネスマッチング（実証フィールドC）

- 連携に向けた事前協議・現地視察
- 連携事業の計画策定

4. NTTリサーチ&UCバークレーとのスタートアップ発掘事業（実証フィールドA・B・C）

- 連携に向けた事前協議・現地視察
- 連携事業の計画策定

5. オープンイノベーションキャンプの定期開催

- オープンイノベーションキャンプ開催

※参考：実証フィールド

- (1) 実証フィールドA 鳥取新都市エリア
 - 生活圏内での安全安心な移動・輸送サービス（ラストワンマイル）の提供
- (2) 実証フィールドB 広岡農場及び周辺中山間地域
 - 地域の農・食・観光資源を活かし暮らしの豊かさを実感できる空間形成
- (3) 実証フィールドC とっとりバイオフィロンティア
 - とっとりバイオフィロンティアの創薬支援に医工連携やヘルスケア、バイオトランスフォーメーションを追加してとっとりバイオフィロンティアの裾野を拡げる